

学校預かり金

学級会計などの私費会計は、学校における重要性・特性を考えると、公費会計に準じた処理が必要であり、いつでも保護者に説明・公開できるよう適正な運営・帳簿作成が必要である。学校の教育活動のため、学校長の承認のもとに集金される経費。

根拠となる法令等

四万十町立学校管理運営規則

(学校徴収金の扱い)

第49条 校長は、学校徴収金について保護者に会計報告を行うものとする。

四万十町立小中学校準公金取扱要綱の運用について

要綱第2条について

(1) 学校預り金とは、学校の教育活動のために、校長承認のもとに保護者から集められる経費のことを指します。

1 学校で集金するものの範囲

① 学校行事などの特別活動において児童・生徒が使用する経費

- a 修学旅行費
- b 体験活動費（見学科、交通費など）
- c その他の費用（各種作品展出品料、検定費用等）

② 児童生徒が所持する教材教具の購入費

- a 文房具
- b 副読本
- c 市販のワークブック類
- d 実習用具・実習材料及び、それに準ずる消耗品
- e 楽器
- f 文集

など

※ただし、下記の品については公費で購入するものとする

- ・用紙類（コピー用紙、画用紙、色画用紙、折り紙、硬筆用紙、習字用紙、版画用紙）
- ・生活科・理科種苗
- ・掲示用ホルダー
- ・彫刻刀
- ・中学校実力テスト（1～2年 1回、3年 5回）
- ・家庭科調理実習用材料（調味料代含む）

(会計例)

- ・学級（学年・特別支援学級）会計
- ・児童生徒会会計
- ・スキー教室会計
- ・修学旅行会計
- ・各部活動会計

など

四万十町立小中学校準公金取扱要綱の運用について

要綱第4条について

（１）集金目的や金額について、学校教育上必要なものであるか、毎年十分な検討を行うとともに、保護者の負担軽減を含め、適正かつ効率的な事務処理に努めなければなりません。

準公金を取り扱うときは、その目的・内容・金額及び集金方法について保護者等に対し、別添様式で事前に通知し、十分な説明を行う必要があります。

2 集金の時期

年度初めに集金計画を作成し、保護者に掲示し計画的な集金に努めます。集金時期は原則として、経費の必要な時期にその都度集金します。ただし、次のようなものについては、月額で集金することが望ましいです。

- ① 金額的に多額となり、一括納入することが保護者の負担になり積立金性格を有するもの（例えば、修学旅行費）
- ② 経常的に必要とする経費で、各月に分担することが実態にあっているもの
- ③ 年間の集金計画が明確で、各月に分割することが保護者負担の面からも軽減になる場合

四万十町立小中学校準公金取扱要綱の運用について

要綱第5条について

準公金を収納するときは遅滞なく、金融機関の口座に預貯金しなければなりません。現金は原則学校に保管しないものとします。やむを得ず一時的に学校に保管する必要が生じた場合は、最小限の金額を金庫またはそれに準ずる設備に保管します。

四万十町立小中学校準公金取扱要綱

(指導及び検査)

第6条

校長は、四万十町教育委員会の指導のもと、学校事務共同実施体制による指導及び検査を受けなければならない。

(会計年度)

第7条

準公金の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

3 処理するにあたって

保護者からの集金は必要最低限にとどめ、その目的・使途を明確にした上で集金し、保護者から預かっているということを念頭におき、1円の違いもないように精算すること。

- ① 会計の年度は単年度（集金額と支払額が一致すること）
- ② 誰から、いつ、いくら預かったのか（集金台帳）
- ③ 誰のぶんで、どこへ、いつ、いくら支払ったか
（請求書・納品書・領収書・集金台帳）
- ④ 全体数で処理できない時は特に注意し、個人別台帳の金額欄で分かるようにしておくこと
 - a 不登校児童・生徒がいる
 - b 就学援助を受けている児童・生徒がいる
 - c 遠足、校外活動を欠席した児童・生徒がいる
 - d 購入しない物品がある児童・生徒がいる など
- ⑤ 集金後はすみやかに業者へ支払うこと
- ⑥ 学期ごとで学校長に確認してもらい、保護者に文書で会計報告をすること
- ⑦ 年度末には関係書類を校長に提出し、確認（検査）をもらうこと

.....
： ※定額集金で残高がある場合
個人ごとの会計報告をすると共に保護
者： 者に返金をし、領収書をもらう
.....

4 必要な書類

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1 出納簿 | 2 集金台帳 |
| 3 支出に関する書類（納品書・請求書・領収書綴） | |
| 4 会計ごとの通帳 | 5 決算書（会計報告書） |
| | 6 通帳管理簿 |



会計事務の流れ

	内容	具体的内容・留意点など	校長	会計担当	業者	保護者
1	計画・立案	前年度の実績・集金計画を参考に 各教科・各学年で必要な教材の検討 業者(メーカー・発行所等)の選定 「なぜ必要か」「どう活用するか」の検討		○		
2	調整・決定	各教科・各学年の計画検討、確認		○		
		決定	○	○		
3	契約・発注		○	○	○	
4	納品・検収	物品納入とともに納品書を必ずもらう		○	○	
5	保護者へ お知らせ	学級会計の目的、今年度の集金計画(内容・金額)及び 集金方法を保護者に通知し、十分な説明を行う。 教材使用届や教育扶助費との整合性の確認		○		○
6	集金	集金(集金袋・集金台帳・出納簿へ記入)		○		○
7	支払い	業者から請求書がくる 納品書・請求書を確認して支払い、領収書と 合わせて貼付 ※すみやかに支払う		○	○	
8	確認(検査)	会計関係書類一式を提出し校長(保護者)の 確認(検査)を受ける	○	○	(	)
9	会計報告	保護者へ報告する		○		○
10	保管	文書分類に基づいて保管(会計年度終了後5年間)		○		

出納簿記入例(学期で締める場合)

令和元年度 4年1組 1学期学級会計出納簿

〇〇学校

月	日	摘 要			収入金額	支払金額	差引残高	領 No. 収 書	備 考
		入金	業者名	ワーク等の名称					
4	25	6人 入金			5400		5,400		
4	26	4人 入金			3600				
5	25	5人 入金			6000				
5	26	4人 入金			4800				
5	30	1人 入金							
6	15	7人 入金					24,500		
6	16	3人 入金					26,000		
7	9	4人 入金					29,200		
7	10	6人 入金			4800		34,000	1	
7	12		四万十教材 4/9	算数ドリル 4/9		2500	31,500	1	
7	12		四万十教材 4/9	国語ドリル 4/9		2500	29,000	2	
7	12		四万十教材 4/12	理科実験教材 4/12		4000	25,000	2	
			次学期へ繰越		34000	9000	30,400		

領収証のNo
領収証は別紙に貼付してNoをふっておく

間違った場合は訂正印
修正液などは不可！

頁の最後は収入、支払いの合
計をして締める

No.	項 目		支払額	円
納品・請求書				
領収証				

令和 元

年度 4 年
集金個別一覧表 4月分

1 組

番号	氏 名	算数ドリル	国語ドリル	理科実験教材				個人計	備考
1	A	250	250	400				900	
2	B	250	250	400				900	
3	C	250	250	400				900	
4	D	250	250	400				900	
5	E	250	250	400				900	
6	F	250	250	400				900	
7	G	250	250	400				900	
8	H	250	250	400				900	
9	I	250	250	400				900	
10	J	250	250	400				900	
11								0	
12								0	
13								0	
14								0	
15								0	
16								0	
17								0	
18								0	
19								0	
20								0	
21								0	
22								0	
23								0	
24								0	
25								0	
26								0	
27								0	
28								0	
29								0	
30								0	
31								0	
32								0	
33								0	
34								0	
37								0	
		算数ドリル	国語ドリル	理科実験教材				集金合計	
		2,500	2,500	4,000	0	0	0	9,000	

250

250

400

1-2-7(2020.1.15)

4 年 1 組

1 学期学級会計報告

1. 収入

項 目	円	人数	合計	総合計	備 考
4月集金	900	10	9,000	9,000	
5月集金	1,200	10	12,000	12,000	
6月集金	0	10	0	0	
7月集金	0	10	0	0	
転出生徒返金					
合計				21,000	

2. 支出

品 名	単 価	数 量	金 額	備 考
算数ドリル 4/9	250	10	2,500	
国語ドリル 4/9	250	10	2,500	
理科実験教材 4/12	400	10	4,000	
国語テスト	300	10	3,000	
算数テスト	300	10	3,000	
理科テスト	300	10	3,000	
社会テスト	300	10	3,000	
合 計			21,000	

3. 差引残高

収入合計		支出合計		残 高
21,000	－	21,000	=	0

残金は2学期に繰越しさせていただきます。
上記のとおり報告いたします。

繰り越しがない場合は、この文を消
すこと。また、年度末には0円にな
るのでその場合も消すこと。

令和 〇〇 年 〇 月 〇 日

四万十町立〇〇学校

校長

四万十 川子

担任

窪川 海苔子

学校
印

私
印

集金台帳(学級集金の記録)

組 No.			4月分集金		5月分集金		6月分集金		7月分集金	
			月 日	金額	月 日	金額	月 日	金額	月 日	金額
1	1	A	4 25	900	5 26	1200	6 16	800	7 10	1200
1	2	B	4 25	900	5 26	1200	6 15	800	7 9	1200
1	3	C	4 26	900	5 25	1200	6 15	800	7 10	1200
1	4	D	4 25	900	5 30	1200	6 15	800	7 10	1200
1	5	E	4 26	900	5 25	1200	6 16	800	7 10	1200
1	6	F	4 26	900	5 26	1200	6 16	800	7 9	1200
1	7	G	4 26	900	5 26	1200	6 15	800	7 9	1200
1	8	H	4 25	900	5 25	1200	6 15	800	7 10	1200
1	9	I	4 25	900	5 25	1200	6 15	800	7 10	1200
1	10	J	4 25	900	5 25	1200	6 15	800	7 9	1200
	11			0		0		0		0
	12			0		0		0		0
	13			0		0		0		0
	14			0		0		0		0
	15			0		0		0		0
	16			0		0		0		0
	17			0		0		0		0
	18			0		0		0		0
	19			0		0		0		0
	20			0		0		0		0
	21			0		0		0		0
	22			0		0		0		0
	23			0		0		0		0
	24			0		0		0		0
合計				9,000		12,000		8,000		12,000